



# AMX-22 スタンドグラス風バッグ

デザイナー / 辻澤由紀

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
パーセント	No.121	①(グレー)	1.7玉
スタンドグラス	No.4	②(赤×青・黄)	1.4玉

●使用ヘドル…30羽 (30本/10cm)

●道具…アミアミくつした針8号 (またはラブ編み基本セット/H190-001)

●付属品…裏布(黒)85×35cm、接着芯(黒)85×35cm、底板31×8cm、  
ニット用接着芯(黒)80×5cm、持ち手芯直径13mm×80cm

●ヨコ糸密度…28段/10cm

●織り上がり寸法…長さ85cm、幅35cm

●作り方

1 タテ糸を張る。

タテ糸の本数…①82本、②23本 (合計105本)

ヘドル通し幅…35cm

タテ糸の長さ…133cm

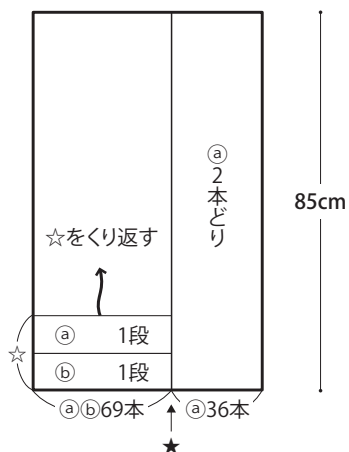
〈タテ糸配色〉



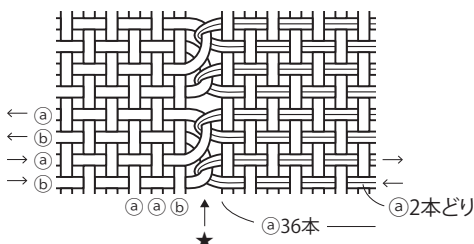
2 ★を境に、ヨコ糸どうしをからめながら引き返し織りする。

〈ヨコ糸配色〉

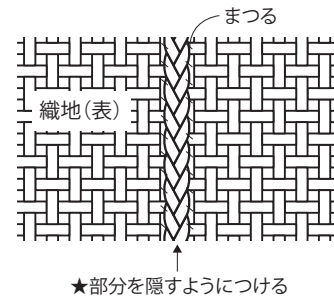
← 23cm → 12cm →



〈引き返し部分〉



3 ②2本どりで長さ85cmの3つ編みひもをつくり、★の引き返し部分にまつりつける。



4 織地裏に接着芯を貼る。織端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。

5 スタンドグラス1本どりで持ち手 (長さ40cm×2本) を編み、ニット用接着芯を巻いた持ち手芯を中に入れる。

〈棒針の場合〉

8号針を使用して一般的な作り目で6目作り、わにして編む。

〈ラブ編みの場合〉

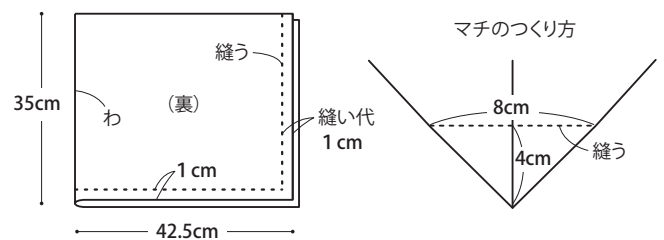
ピンを4つ立て、リリアン編みで編む。



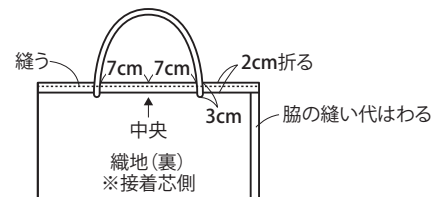
6 仕立てる。

①織地、裏布とも脇を底を縫い、底にマチをつくる。

〈織地・裏布共通〉



②織地の口部分を折り、持ち手と一緒にステッチをかける。



③底板を織地と裏地の間に入れ、裏地の口を織地にまつりつける。

